平成30年度事業報告

**特定非営利活動法人スマイル銚子**

児童福祉法事業

１．　継続事業

* 1. 子どもたちの放課後・休日の療育支援事業

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業

・こども園「えがおの家」　・こども育ちセンター「えがおの広場」

* + - 陣屋町に事業運営と活動拠点を構えてより活動内容と範囲もより拡がりました。
		- 地元地域の皆さんとは、まちかどサロン「子ども食堂」、こども夏祭り、敬老祝賀会、クリスマス会、餅つき大会、えがお卒業式等ご近所の皆さん、町内会との共催をして、子どもたちは、一緒に楽しんでの学びがたくさんありました。
		- 地域社会との交流、社会性の向上、生活する力の底上げ、心の育ちに繋がる活動が出来ました。
		- 今年度で通所支援児童数は、３３人となりました。
		- 開設して１１年目になります。この間、放課後や長期休暇等には、銚子特別支援学校始め銚子市、神栖市、旭市、匝瑳市、東庄町の小・中学校、鹿島特別支援学校の子どもたちが通園し、楽しく健やかに元気に活動しました。
		- 地域の療育支援センターや小・中学校、特別支援学校、わかば学園、他地域の関係事業者や関係福祉団体などと子どもたちの療育支援や子育て支援の連携を図りました。
		- 見学者・問い合わせは数組あり、未就学児や小中学校の支援学級の児童の登録もありました。
		- 通園のきっかけは皆さんの口コミ、ＳＮＳ、発達支援センター、行政、教育医療関係等からの紹介でした。
		- 春・夏・冬休みなどの長期休暇に限らずに、学校の休業日、登校渋り、いわゆる不登校児童の通所支援も増えました。
		- 学校、教育関係者の方々にも、本事業が理解されてきており、支援が必要な子どもたちや家族への取り巻く環境も良くなり、関係機関との連携がより一層構築されてきました。
		- 長期休暇中には、学生等のボランティア、実習、職場・職業体験もありました。

（中学・高校生、大学生、小中学校教諭、養護教諭、児童療育指導員等）

* + - 毎週月曜日から土曜日の開所日が定着しており、特に土曜日は、子ども会議（第１）やスポーツデー（第２，４）書道教室（第3）アート教室、プラネタリウム鑑賞会等で活動が楽しめるように企画しました。
		- 家族の就労の支援や家庭の都合や用事に限らず、子どもたちにとって学校と家庭以外の第三の居場所、居心地の良いところ、まちの児童館的な役割、療育支援の場、遊びづくり・仲間づくり・生活づくりを保障して、本人のペースに合わせた支援で取り組みました。
		- 子どもたちの輝く笑顔を見るために！心の輝く療育を！活動理念として、療育の支援、指導の場としての質の向上を目指し各種研修会や学習会、特に、発達障害に関する勉強会等に積極的に参加しました。
		- 発達障害、自閉症関係の学会（日本発達障害学会、日本自閉症スペクトラム学会、日本ＬＤ学会、ＴＥＡＣＣＨ研究会、千葉放課後連、全国放課後連盟）にも加盟して、情報収集や研修活動等を行いました。
		- 子どもたち、家族、地域のニーズに応えることで、地域社会に貢献し、地域に必要とされる事業との想いで取組みました。

②　障がい者相談支援事業所「えがおのネットワーク」

* + - 今までの経験を活かして、身近な指定相談支援事業所「えがおのネットワーク」として、指定を受けています。
		- 今年度も千葉県障害福祉課から千葉県障害児等療育支援事業の委託を受けました。
		- 主に子育て、療育等の相談を受けて、関係機関を繋いだ支援をしました。
		- 全ての障害児者に対して計画相談支援を行う（いわゆるオールケアマネ）ことになり、ケアマネージャーとして計画作成に取り組みました。
		- 日本相談支援専門員協議会、千葉県相談支援事業連絡協議会に加盟して情報収集や研修活動等を行いました。
		- また、地域の方や関係者等の日常生活上の相談援助は継続的に行いました。

障害者総合支援法事業

１．新規事業

　①多機能型事業所「にっこりえがお」

　　生活介護と就労継続支援Ｂ型事業の開設

* 昨年度５月１日に開設しました。事業定員は、生活介護１０名、就労継続支援Ｂ型１０名の合計２０名の多機能型事業所です。
* 通所支援対象者は、日常生活での介護支援が必要とされる人たち、就労への支援が必要とされる人たちであり、制度上の各種の支援受給者です。
* 就労支援としての作業等は、施設外就労として寶満寺様の境内清掃、銚子スポーツタウンの施設管理業務（清掃・手入れ業務等）、その他にご近所のゴミだし、草刈り作業等行いました。
* 生活介護では、身体介護、生産性活動として境内清掃のお手伝い、創作活動、余暇活動、身体づくり活動、散策、レクリエーション活動など行いました。
* 多機能型の特性・利点を生かして本人たちにとって居心地良く楽しく継続性ある活動が出来るような内容で支援をしました。
* 毎日通所することを目標に、安定感ある生活ペースの継続性と心地良い感情を引き出して、生きがい・やりがい・目標を持って活動をすることへ援助しました。
* 今年度は、定員の５割を想定していましたが、平均値４３％でした。（年度末８+４＝１２名）

自主事業

1. 継続事業

① ふるさと遊学

* 自然と触れ合うことで、健全なこころを育成し、銚子の魅力を再発見することが目的のふるさと遊学を行い、参加者は銚子の自然を満喫しました。

今年度は下記のとおり実施しました。皆さんお疲れ様でした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ６月９日（土） | 「ホタルを見よう！！」●ホタル観賞会 | 八木町豊岡農村婦人の家前 |

② スマイル星数事業

* 現行の公的な福祉サービス（障害者自立支援法、児童福祉法、介護保険法など）では、まかない切れずに立ちゆかない、地域で生活していく上で本当に必要とされていることに少しでも貢献できるよう制度外サービス事業（パーソナルアシスタント）です。
* 制度では、利用の制限などがあり、時間数は少しですが、定期的な利用になっていましたが、（きょうだいの利用とその友だち）今年度の利用はありませんでした。
	1. ホームページのリニューアルとフェイスブック、ニュースレターのリリースについて
* ホームページは定期的な更新をしました。分かり易く見やすいことを中心に作成依頼して情報発信しました。
* 内容もフェイスブックとリンクしてあり、活動の様子など見やすくなっています。
* ニュースレターは、不定期ですが、フェイスブックへの投稿やライン・メールでの情報を発信したことを、スポット的に情報発信をしました。町内会の回覧板の載せていただきました。
* 今年度は、「週刊ひろがるえがお」を毎週木曜日に発刊して、にっこりえがお、えがおの家、広場の情報や地元の情報を掲載して、ご近所、地元町内会、関係者、関係機関等へにっこりえがおの通所者が配布いたしました。

にっこりえがおへの就労支援の仕事やえがおの広場への見学・訪問や問い合わせも増えました。

* 皆さんからの投稿や情報提供をお待ちしております。

ＮＰＯ支援団体に加盟

* + 1. ちばＮＰＯ協議会
		2. 特定非営利活動法人　ちば市民活動・市民事業サポートクラブ　通称名：ＮＰＯクラブ
* 県内のＮＰＯ団体の活動支援や情報交換、交流及び団体の活動支援などの目的で加盟しました。
* すばやい対応で、ＮＰＯ活動や市民活動の支援や相談・援助を担い、ともに発展成長に役立ち活用出来ました。